

No	意見の内容	反映方針
1	<p>この内容が2市2町全体として取り組むべきことなのか、4市町として取り組むべきことが何なのか見えない。この内容だと各市町の計画に取り込んでやればよいのではないか。</p> <p>「各方面や関係機関管への働きかけ」の記載が多く、4市町、自らがなにをやるのかわからない。</p> <p>4市町、共同でやることは共通の悩みや問題点の解決に絞っていく必要があるのではないか。せめて3市町の共通事項にすべきである。</p> <p>例えば、仙台空港へのアクセス・利便性の向上、常磐線とアクセス鉄道との連絡体制の充実や道路網の整備などが可能な計画とすべきと思う。</p> <p>仙台空港24時間化に向けてのバックアップにあっては航路にある住居の移転をまずやるべき。それには騒音基準や国の線引きにかかわらず住民の希望により4市町域内の移転移住を進める。そのためには各市町で問題となっている空き家・空き地の有効活用をはかるなど、互いに協力すべきである。それらが可能となるような基本計画を作るべき。また、24時間化ではそれに応じた乗降客の足の確保なども必要となってくると思われる。それらに対応した施策を基本計画に盛り込む。</p> <p>さらには東北縦貫自動車道へのアクセス・利便性の向上など。</p> <p>また、この地区の発展や知名度アップには市町共通（せめて3市町）の特産品のブランド（阿武隈ブランド）化などを考えていく、そのような計画にしてはどうか。ご検討よろしく申し上げます。</p>	<p>本計画は、第六次仙台都市圏広域行政計画の上位計画に基づき、東日本大震災からの復興や、少子高齢化や人口減少の到来など、急速に変化する社会情勢に対応していくため、2市2町が共通認識のもと、圏域が持続的に成長・発展し住みよいまちづくりのための指針として策定します。</p> <p>また、国や県をはじめ各所管機関・団体などへの要望等につきましては、圏域の方々の利便性の向上、生活環境の充実が図られる内容であれば、本協議会で適宜協議の上、要望・要請に努めてまいります。</p> <p>なお、ご指摘のとおり本圏域には多彩な特産品がございますので、第2章に第3節を次のように新設したいと思います。</p> <p>第3節 力強い農林水産業の推進</p> <p>農林漁業者の生産の維持・発展のために、IOT等の先端技術の活用促進することにより、人材の確保や育成に努めるとともに、農林水産業を支える環境整備や農水産物のブランド化による高収益化などの取り組みを進めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶スマート農林水産業の取組推進 ▶特産品のPRの推進 ▶農水産物のブランド化の推進